

第38期第5回理事会議事録

日 時：2014年10月21日（火）17時10分～21時00分

会 場：福岡国際会議場 小会議室504/505

出席理事：新野 宏, 藤谷徳之助, 岩崎俊樹, 榎本 剛, 佐藤 薫, 佐藤正樹, 塩谷雅人, 竹見哲也, 田中 博, 中島映至, 中村 尚, 廣岡俊彦, 藤部文昭, 三上正男, 山田和孝, 余田成男, 以上16名

（理事現在数20名）

出席監事：岡本幸三, 高谷康太郎, 以上2名

その他の出席者：隈, 弟子丸, 用具（以上福岡管区気象台）, 渡辺（事務局）

議 題

議事に先立ち新野理事長より秋季大会を担当した九州支部に対して感謝の意が表明された。

1. 第38期第4回理事会議事録の確認

2. 会員の新規加入等について

新入会員1, 退会3を全会一致で承認した。2014年10月15日現在, 会員数3,641名で個人会員は3,390名。

3. その他協議事項

NHKからの12月下旬放送予定の科学番組に対する学会と学会員への協力依頼について協議し, 協力することを全会一致で承認した。学会員への周知やアンケートの依頼は学会事務局を差出人として, 各自の登録メールアドレス宛に行うこと, 回答は自由であることを確認した。

JpGU（日本地球惑星科学連合）のユニオンセッションについて, 前回と同様に協力することを全会一致で承認した。また, アジアモンスーン地域の水文気候を対象とした国際セッションの共催依頼について全会一致で承認した。

4. 各委員会からの報告

庶務…

1) 転載許可

本期間は申請無し。

2) 後援名義等使用依頼受付

①名称：第5回「分野4 次世代ものづくり」シンポジウム

主催：東京大学生産技術研究所

期日：2014年12月5日

場所：(独)理化学研究所計算科学研究機構

名義：協賛

②名称：第19回「震災対策技術展」横浜

主催：「震災対策技術展」横浜 実行委員会

期日：2015年2月5-6日

場所：横浜国際平和会議場

名義：協賛

3) その他

気象学会ロゴマークの高解像度版納品について、これを正式版として気象学会事務局で管理することが報告された。

会計…2014年9月分の収支及び現預金検査報告。

企画調整…以下の報告があった。

- ・支部長会議の報告。10月9日に第38期の第1回支部長会議を開催した。全支部長が出席し、活発な議論が行われた。詳細は議事概要として、「天気」に掲載予定。議題の一つである秋季大会の見直しについては、各支部の考えを把握したことから、今後講演企画委員会で詳細な検討を行う方針が示された。

- ・倫理規程案に寄せられた意見への対応方針と、それに基づく倫理規程修正案が提示され、承認された。

- ・今期の評議員会について、議題を「(公社)日本気象学会における理科教育への取り組み」とすることを全会一致で承認し、評議員候補者の選任の方針について検討を行った。

講演企画…JpGUにおける気象学会主催セッションのサブテーマを、「最新の大気科学：衛星による地球環境観測」とすることを全会一致で承認した。また、2015年度春季大会分科会の応募状況と取りまとめ方針について議論した。

天気…Vol. 61 No. 10 (2014年10月号)の掲載記事と、Vol. 61 No. 11, 12 (2014年11, 12月号)の予定記事の報告。

気象集誌…来年の出版及び英文校正について、今年と同じ業者になったことが報告された。

SOLA…年初からの投稿論文数が58編、出版済みの論文数が34編であることが報告された。

気象研究ノート…第230～232号の刊行予定について報告された。

各賞…前回理事会の指摘を受け、今後「Discussion論文」を業績に含めないことを申し合わせた。今年度の正野賞の受賞者選定が、この申し合わせの趣旨に照らして適切に行われたことも確認した。

- ・岸保賞、正野賞、山本賞のメダルについて、天気及び気象学会WEBへの掲載文の検討を行った。

学術…「今後の宇宙開発体制のあり方に関するタスクフォース会合・リモートセンシング分科会」コミュニティ幹事会(TF幹事会)に提出する気象学会からの要請リストを取りまとめた。リストについて全会一致で承認した。

気象研究コンソーシアム…10月23日の気象研究コンソーシアム委員会拡大会議について報告。

地球環境…地球温暖化問題に関する書籍について、表紙、帯、あとがき、執筆者リストの確

認と今後の広報について検討した。

気象災害…10月20日に実施した気象災害委員会研究会（メソ気象研究連絡会共催）の報告。

教育と普及…2015年春季大会におけるジュニアセッションの実施要領について検討し、開催を理事会として承認した。

国際学術交流…日中韓合同学会について、日程と開催方法について議論。2015年の秋季大会前後に開催を予定。若手に発表の機会を与えるようポスターセッションを中心に考えていることが報告された。

電子情報…ログイン機能について、会員管理については大会登録と同様の方法で、会員限定コンテンツについては当面はBASIC認証とすることを承認し、将来的にはJ-Stage Liteを通じて提供する方針が示され、今後検討することとなった。また、旧サーバ（KDDI）の契約を1月末で打ち切ることについても承認した。

人材育成・男女共同参画…以下の報告があった。

- ・「有期雇用研究者の雇用環境改善のための要請」を、JpGUを通じて、全ての学会が参加している連絡会からの発出を依頼。
- ・リクルートブースについて、次回春季大会でアンケートを実施して会員及び企業から広くニーズを探る。また、次回秋季大会での実施の検討を運営委員会に依頼。
- ・気象学会WEBにおける学会員の紹介について、カテゴリー分けを行う。研究だけでなく、行政の関係者の紹介も行う方針。
- ・秋季大会最終日に女性会員の集いを予定。

5. その他報告事項

原子力関連施設の事故に伴う放射性物質拡散に関する作業部会から、「放射性物質の大気拡散に関する数値予測情報の活用方策」について報告があった。

平成26年11月26日

公益社団法人日本気象学会

理事長 新野 宏

監 事 岡本 幸三

監 事 高谷 康太郎